

## エキゾチックアニマルの飼育状況について

### 1. エキゾチックアニマルの定義

エキゾチックアニマルという言葉に明確な定義はないが、主要な団体などにおいて以下のような定義がみられる。

- ▶ 「犬、猫以外の飼育動物」  
公益社団法人日本獣医学会、日本獣医エキゾチック動物学会、公益社団法人日本獣医師会、九州エキゾチック動物臨床研究会、ペット栄養学会誌
- ▶ 「犬、猫以外の野生動物ではない飼育動物」  
エキゾチックペット研究会
- ▶ 「一般的なペットとして飼われている動物以外で、特に外国産の動物や野生由来の動物」  
WWF ジャパン

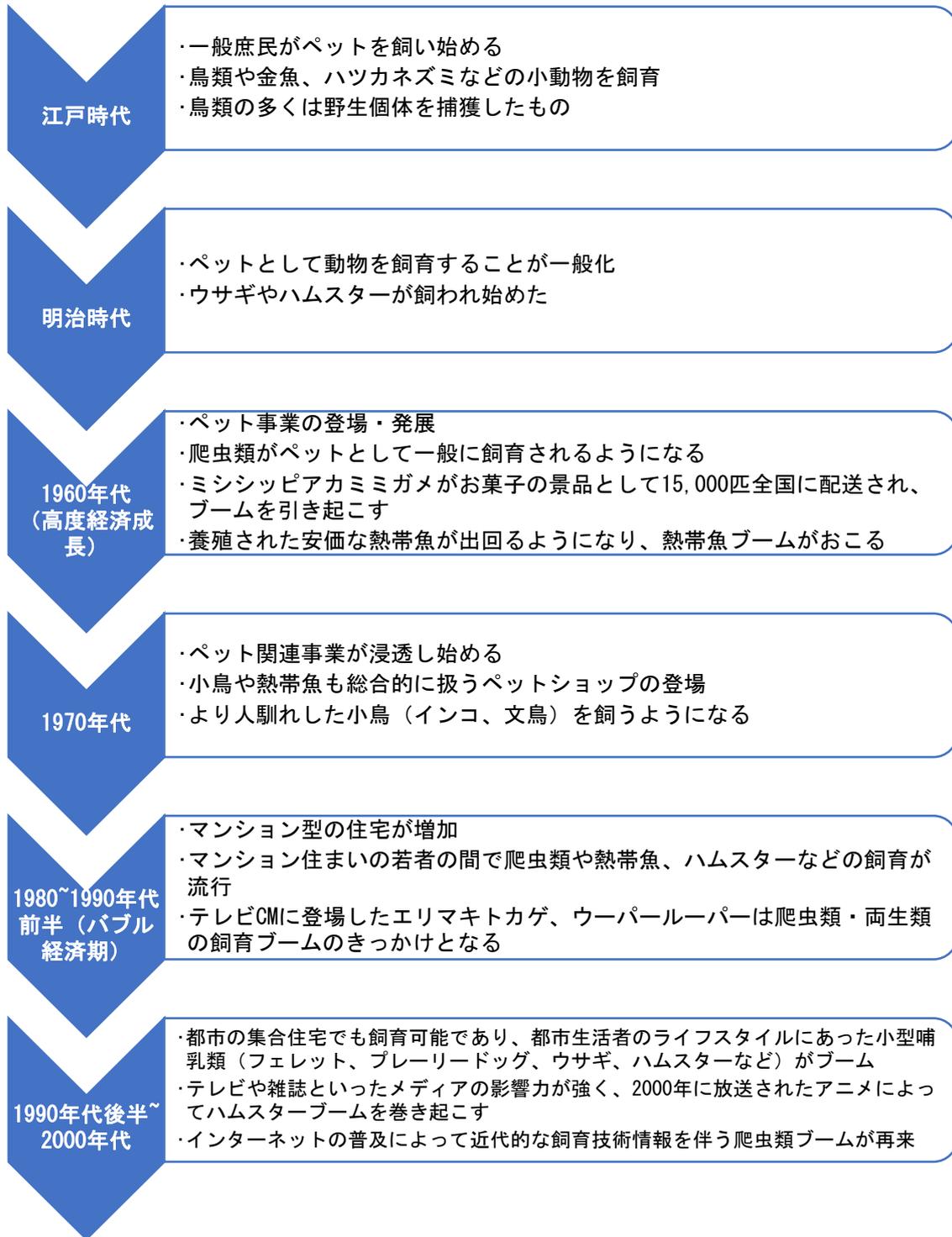
エキゾチックアニマルという言葉は主に犬と猫以外の飼育動物を指すが、野生動物であるかないかで見解が分かれることがある。また、海外由来の動物を含むかどうかでも意見が分かれる。犬と猫以外の飼育動物ということでは、ハムスター、ウサギ、ハリネズミといった哺乳類から鳥類、爬虫類、両生類、魚類が含まれるが、日本の野鳥や爬虫類などは含めない、といった考え方や魚類は含めないといった使い方がされることもある。

本検討会では便宜上エキゾチックアニマルという言葉は、「犬と猫以外のペット※（飼養動物）」を意味することとする。

※動物愛護管理法第 10 条第 1 項に規定される動物のうち犬と猫を除くもの。

## 2. 日本におけるエキゾチックアニマルの歴史

### (1) エキゾチックアニマルに関する大まかな流れ<sup>1</sup>



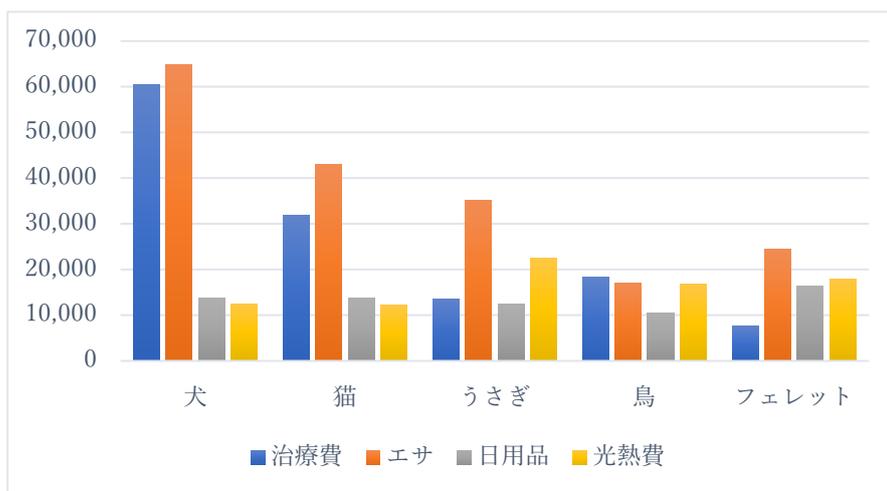
<sup>1</sup> 石橋 佳法 札幌大学大学院経済学研究科 「ペット産業と環境問題 A study of the pet business and environmental subject」を参照

## (2) 1990年以降の傾向<sup>2</sup>

一昔前から家庭のペットとしてハムスターやセキセイインコ、文鳥、ミドリガメなどが広く飼われていたが、飼育方法といえば、その動物の生態・特性等を考慮したものではなく、家庭で手軽に扱える方法で飼育されていることも少なくなかった。近年では、ペットが家族の一員として認識されるようになり、またペットの長寿を目指して、飼育方法も動物の生態・特性等に配慮する傾向が強くなってきている。

エキゾチックアニマルの飼育頭数（販売頭数）や種類は、その時代の偏りが見られる。例えば、リーマンショック後は、フェレットが流行り、つい最近ではチンチラやフクロモモンガ、デグー、ハリネズミが人気である。さらに、温度管理をしなくてはならない等の手間がかかる飼育方法を要するリクガメやトカゲの需要も高まっており、エキゾチックアニマルの飼育頭数は増加傾向にある。その理由として、様々な要因があるが、犬や猫より飼育スペースが狭く、エサ代などの費用<sup>3</sup>や手間がかからないという理由に限らず、単に珍しい・他者と違うという関心から飼われる場合も少なくはない。

図1 「ペットにかかる年間支出調査 2020」（アニコム調べ）



エキゾチックアニマルの種によっては、飼い始めより何倍もの大きさになるものがあり、飼育環境エンリッチメントを考えると費用がかかるものもあり、さらにペットとして個人での飼育に不向きな種類もいる。エキゾチックアニマルの飼育には、動物ごとに必要な飼育環境を提供できること、飼育者も含め人に危害を与えないような管理が行えること、さらに公衆衛生にも注意を払うことが必要である。

<sup>2</sup> 参考文献：霍野晋吉「エキゾチックアニマル哺乳類編」

<sup>3</sup> アニコム「ペットにかかる年間支出調査 2020」

[https://www.anicom-sompo.co.jp/news/2020/news\\_0210323.html](https://www.anicom-sompo.co.jp/news/2020/news_0210323.html) 参照

### (3) エキゾチックアニマルに関する問題

エキゾチックアニマルに関する問題として、下記の問題が挙げられる。

- ア 輸入（密輸）問題
- イ 生態系への被害の問題（環境問題）
- ウ 種の絶滅の問題
- エ 人獣共通感染症の問題
- オ 動物福祉の問題

#### ア 輸入（密輸）問題<sup>4</sup>

WWFの「日本のエキゾチックペット取引」によると、日本はエキゾチックペットの消費大国の一つである。例えば、生きた爬虫類の輸入額は、香港、アメリカ、中国に次いで4位となっている。

また2014年から2018年間の日本税関による「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」（以下、ワシントン条約）の対象種として、13の国と地域からきた78件（1,161匹）の動物が差し止められた。その内訳は、爬虫類が最も多く71%、哺乳類19%、鳥類6%となっている。なお差し止められた動物の推定市場価格は、5,410万から1億2,560万に達する。

#### イ 生態系への被害の問題（環境問題）

外国より輸入されたエキゾチックアニマルが逃走し、国内に定着することで、固有の動物の生態系を破壊していることは大きな環境問題である。（外来生物の問題）

2003年実施の内閣府「動物愛護に関する世論調査」でも、外国産野生生物のペット化の是非について聞いたところ、約4割の方が生態系の影響を反対の理由として挙げていた。

#### ウ 種の絶滅の問題

希少性を求める消費者が存在しているため、希少性の高い種やアルビノなどの個体は高額取引をされる現状がある。そのため、海外で乱獲され、絶滅が危惧される種がある。また生息国で捕獲が禁止されている種や輸入記録が確認できない種が日本で公然と販売されているという報告もある。

（例）ポト（ロリス科）準絶滅危惧種の密輸

#### エ 人獣共通感染症の問題

エキゾチックアニマルは、人獣共通感染症のキャリアになっていることがある。そのため、「特定外来生物による生態系などに係る被害の防止に関する法律（以下、外来生物法）」や「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法）」などの法律が施行されている。

<sup>4</sup> 参考文献 WWF「日本のエキゾチックペット取引」<https://www.wwf.or.jp/activities/data/20200611wildlife01.pdf>

表1 感染症法において輸入が禁止されている動物とその感染症

動物	感染症
サル	エボラ出血熱、マールブルグ病
プレーリードッグ	ペスト
イタチアナグマ、タヌキ、ハクビシン	重症急性呼吸器症候群（SARS）
コウモリ	ニパウイルス感染症、リッサウイルス感染症など
ヤワゲネズミ	ラッサ熱

表2 動物の輸入届出制度における対象動物と感染症<sup>5</sup>

対象動物		対象感染症
		※1類から4類感染症のうち、国内への侵入を防止する必要があるとされた感染症
生きた陸生哺乳類	齧歯目に属する動物	ペスト、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、野兔病、レプトスピラ症
	うさぎ目（ナキウサギ科のみ）の動物	野兔病、狂犬病
	その他哺乳類	狂犬病
哺乳類の死体	齧歯目に属する動物の死体	ペスト、サル痘、腎症候性出血熱、ハンタウイルス肺症候群、野兔病、レプトスピラ症
	うさぎ目（ナキウサギ科のみ）の動物の死体	野兔病
生きた鳥類に属する動物		ウエストナイル熱、高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ

## オ 動物福祉の問題

エキゾチックアニマルの飼育や生態管理については、種によっては専門の獣医師でないと扱えることができない場合もあり、飼い主においても十分な知識のもとに飼育できているとは言い難い。例えば、1970年代にブームとなった九

<sup>5</sup> 厚生労働省 動物の輸入届出制度 Q&A より

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou12/16.html>

官鳥では生体の知識がなかったために専用のフードとして売られていた飼料に含まれる鉄分が原因で肝臓病を発症するケースが多発した。また、飼いやすきの観点から、以前はウサギには水を与えないで野菜などを中心とした餌で育てるといった飼育方法が定説となっていて、その後、水とペレットを与える飼育が一般的になると平均寿命が大幅に伸びたといったケースもある。

エキゾチックアニマルの飼育では、その動物についての知識が十分でないために、適正な飼育環境が整えられなかったり、病気になった際にも適切な治療を受けさせなかったりすることが現状である。獣医系大学の病院のうちエキゾチックアニマルの診療科があるのは、現在東京大学のみである。またエキゾチックアニマルを診療できる獣医師もまだまだ少ないのが現状である。

### 3. 日本で人気のあるエキゾチックアニマルの種類、最近の傾向

#### (1) 日本のペットの動向

2010年に内閣府が実施した「動物愛護に関する世論調査」ではペットの飼育状況は、犬、猫、に続き、魚類、鳥類、うさぎ、ねずみ類、爬虫類の順で続いていた。(表1参照)

表3 飼育しているペットの種類<sup>6</sup>

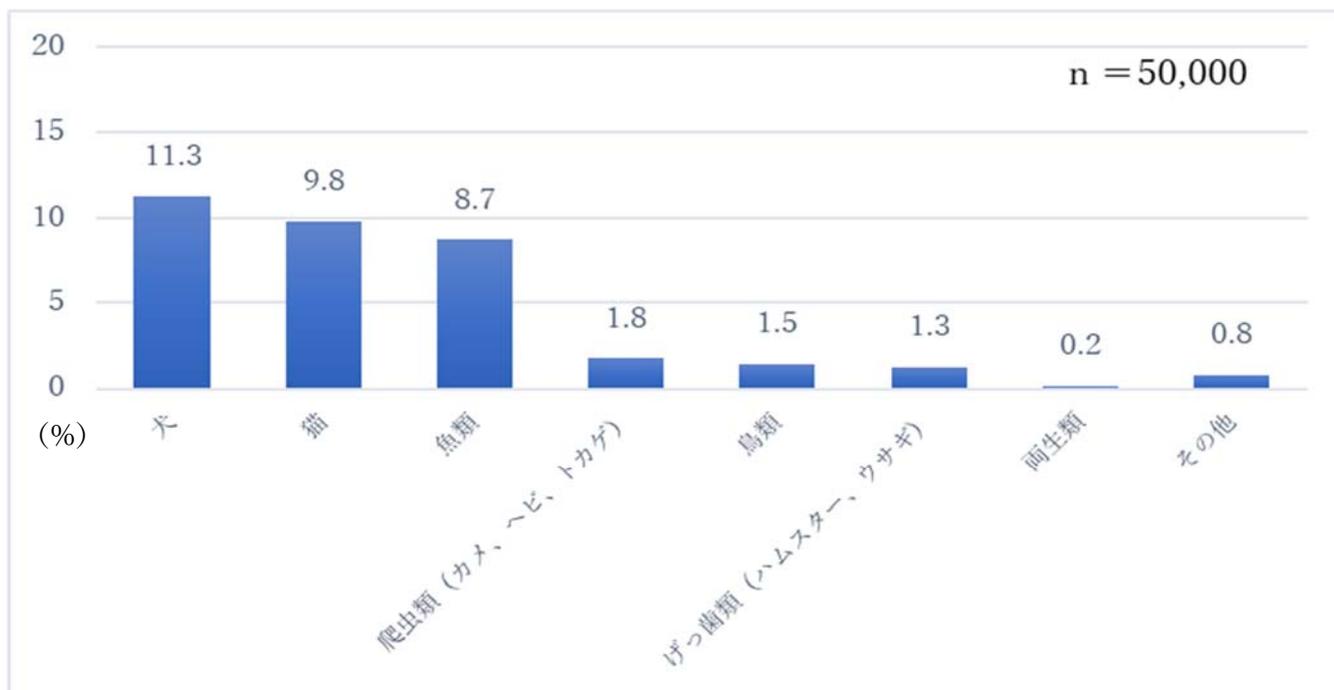
	該当者数	犬	猫	魚類	鳥類	昆虫類	うさぎ	ねずみ類 (ハムスターなど)	は虫類	両生類 (カエル、イモリなど)	その他ほ乳類	その他
総数	666	58.6	30.9	19.4	5.7	3.6	3.3	2.7	2.6	1.8	1.1	0.2
大都市(小計)	148	55.4	25.7	19.6	7.4	6.1	4.1	4.7	2.7	2.7	3.4	-
東京都区部	21	47.6	28.6	33.3	9.5	9.5	4.8	9.5	4.8	9.5	-	-
政令指定都市	127	56.7	25.2	17.3	7.1	5.5	3.9	3.9	2.4	1.6	3.9	-
中都市	276	58.3	31.2	21.7	5.8	3.3	2.5	2.5	2.2	1.4	0.4	-
小都市	167	62.3	34.7	18	5.4	1.8	3.6	1.2	4.2	1.8	-	0.6
町村	75	57.3	32	13.3	2.7	4	4	2.7	-	1.3	1.3	-

近年その傾向に変動があり、鳥インフルエンザ等の問題などから鳥類は減少し、東日本大震災の後、飼育設備の水漏れや火災への懸念から魚類の飼育も減少傾向が続いている。一方、爬虫類を飼う人は増えている。一般社団法人ペットフ

<sup>6</sup> 内閣府「動物愛護に関する世論調査」 <https://survey.gov-online.go.jp/h22/h22-doubutu/2-1.html> 参照

ード協会の「2021年(令和3年)全国犬猫飼育実態調査結果」<sup>7</sup>によると、犬、猫、魚類(メダカ、金魚、熱帯魚、鯉、淡水魚等)に続いて、爬虫類(カメ、ヘビ、トカゲ)が続いていることが分かる。

図3 ペット現在飼育状況

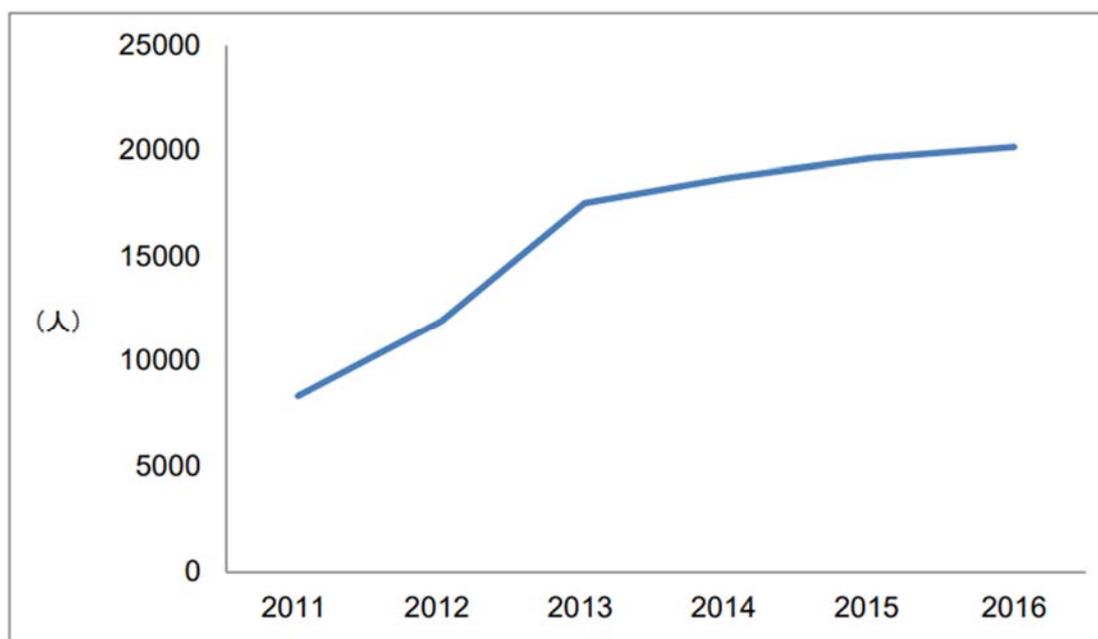


この傾向には、国民的感情の変化などにも起因していると考えられる。以前は、爬虫類に対して「怖い」、「気持ち悪い」といったイメージを持つ人が多かったが、若い世代に人気のある著名人が爬虫類を飼ったり、SNS等で爬虫類の写真や動画を公開したりしているため、爬虫類のイメージの変化につながっている。また、哺乳類に比べて手間がかからない、関連商品の進化等によって爬虫類の飼育数が増加していると考えられる。

さらに、販売方法にも変化が見られ、特に爬虫類は店舗での販売以外に展示即売会の開催数が増加傾向にある。実際、展示即売会の来場者数は年々増加していることが明らかになっている。WWFの報告によると、関東地域最大級の展示即売会「レプタイルズワールド」の2011年の来場者数は約8,000人であったが2016年には2万人を超え、約2.5倍にも増えていた。

<sup>7</sup> 一般社団法人 ペットフード協会「2021年(令和3年)全国犬猫飼育実態調査結果」より一部改変

図4 エキゾチックペット展示即売会来場者数の推移<sup>8</sup>



これらの展示即売会ではその名のごとく、簡単にトカゲやヘビが手に入るため、以前は鑑賞用、コレクション用としてマニアを中心に飼育されていたが、近年は飼育初心者の飼い主が増えている傾向がみられる。

2021年に開催された爬虫類展示即売会は、インターネット調査において少なくとも全国で合計76回行われている。(表4)

なお、複数の爬虫類を扱う動物取扱業者に環境省と事務局でヒアリングしたところ、最近ではほぼ毎週末、日本のどこかで展示即売会が行われているような状態であった。また、事業者の中には実店舗を持たず、展示即売会(イベント)を行脚して業を行っているところもあり、全国を渡り歩くため、販売する動物の世話がおろそかになっているケースも見受けられるという。展示即売会ではイベント中、その場で餌を食べさせてしまうと消化不良になる可能性があるため、営業中は給餌や水も飲ませないことが多い。そのため、動物の栄養状態が悪いものが多いという話だった。また、犬と猫のような規制がないため、まだ販売には適さないような幼齢個体を販売しているようなケースも見受けられるといった話も寄せられた。

<sup>8</sup> 関東地域最大級の展示即売会「東京レプタイルズワールド」への来場者数の変化(WWF調べ)

表4 2021年に行われた爬虫類展示即売会  
(インターネット情報による事務局調べ)

月	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1月		アクアリウムバス (東京) エキゾチックレプタイル エキスポ2021 (東京) BLACK OUT (埼玉)	ジャングルハンター (愛知)	爬虫類市場 (大阪)  ジャングルハンター (大阪)		
2月		エキゾチックレプタイル エキスポ (東京)	ジャパンレプタイルズ ショー (冬レプ) (静岡)	レプタイルズフィーバー (大阪)	ジャングルハンター (広島)	
3月		BLACK OUT (東京) アクアリウム東京	ジャングルハンター (静岡)	爬虫類市場 (大阪)  カメDE Show (名古屋)	SBS (四国ブリーダーズ ストリート) (香川)	
4月	東北ペットフェスティバル (福島)	ジャパンレプタイルズ ショー (浜レプ) (神奈川)  エキゾチックレプタイル エキスポ (東京)		ジャングルハンター (大阪) BLACK OUT (大阪)  毒ろね (奈良)	ジャングルハンター (広島)	ジャングルハンター (熊本)
5月		東京レプタイルズワールド (東京) エキゾチックレプタイル エキスポ (神奈川)	ジャングルハンター (静岡)	ジャングルハンター (大阪) 爬虫類市場 (大阪)	広島レプタイルズワールド (広島)	
6月		BLACK OUT (東京) エキゾチックレプタイル エキスポ (東京)		爬虫類市場 (大阪)	ジャングルハンター (岡山)	九州爬虫類フェス (九州)
7月		エキゾチックレプタイル エキスポ2021 (神奈川)		レプタイルズフィーバー (大阪) BLACK OUT (京都)	ジャングルハンター (山口)	
8月	ジャパンレプタイルズ ショー (北海道)	エキゾチックレプタイル エキスポ (神奈川) BLACK OUT (埼玉)	ジャパンレプタイルズ ショー 夏レプ (静岡)	ジャングルハンター (大阪) 爬虫類市場 (大阪)	ジャングルハンター (広島)	
9月		エキゾチックレプタイル エキスポ (東京) BLACK OUT (東京)		神戸レプタイルズワールド (兵庫)	ジャングルハンター (岡山) SBS (四国ブリーダーズ ストリート) (香川)	ジャングルハンター (熊本)
10月		エキゾチックレプタイル エキスポ (神奈川) アクアリウムバス (東京)	ジャングルハンター (愛知) なごやレプタイルズワールド (愛知)	ぶりくら市 (兵庫) 爬虫類市場 (大阪)  毒ろね (奈良)  ジャングルハンター (大阪)		沖縄爬虫類展示即売会
11月		BLACK OUT (東京) ぶりくら市 (東京)  ハーブタイルブリーダー ズマーケット (東京) エキゾチックレプタイル エキスポ (東京) アクアリウムバス (東京)		ジャングルハンター (大阪) ジャングルハンター (京都)		九州爬虫類フェス (福岡)
12月		東京レプタイルズワールド (東京) エキゾチックレプタイル エキスポ (東京)		爬虫類市場 (大阪)  ジャングルハンター (大阪)	ジャングルハンター (岡山) ジャングルハンター (広島)	
合計	2	26	7	25	11	5